

「アメリカで何をつかみとりたいか」

北海道標津高等学校 普通科 2年 徳橋 采音

私は将来、世界の人が心から笑顔で暮らせることにつながる仕事に就きたいと考えている。人が笑顔でいるためには平和が必要だ。平和とは、争いが少なく、衣食住に困らず、勉強ができる環境である。争いは一部の人間には利益をもたらすが、それ以上に悲しみと貧困を生み、学ぶ環境に悪影響を及ぼす。こうして争いの悪循環が生まれる。

個人や集団の間で起こるいざこざ、紛争や内戦、戦争などを含む争いは、人と人との違いの中で生まれ、主張や民族、文化や宗教の違い、資源や土地、権利の取り合いなど、様々な場面で起こる。

人は、心の中が悲しみであふれてしまった時に攻撃的になるため、それが原因で、さらなる争いを引き起こし、戦争に発展することも考えられる。争いから悲しみが生まれ、悲しみから争いが生まれる、というように争いと悲しみは深く関係している。

また、影響力が大きい人が言った言葉を大衆が鵜呑みにし、それが全て正しいことだと信じたときに、戦争になることもある。

影響力が大きいものの1つとしてメディアをあげることができる。私たちは、新聞、テレビなどのメディアから多くの情報を得ている。そのため、間違った情報が流されたとしても私を含む大衆はそれを正しいことだと信じてしまう傾向がある。これを防ぐために、他者から伝えられた情報を全て鵜呑みにするのではなく、様々な立場から物事を考えることが必要である。

人間は皆、当たり前だが、考え方も見た目も違う。全員がわかり合えるわけではない。しかし、私たち人間は、動物と違い他者との違いや多様性を受け入れ、理解することができる。国や宗教、文化や年齢に関わらずたくさんの人と関わりあうことによって視点を変え、様々な立場から物事をとらえることができるようになる。それが世界の平和に繋がっていく。

私は、視点を変え、視野を広げ、様々な立場から物事をとらえることができるようになるために、アメリカに行きたい。

アメリカは多民族の国なので様々な人種の人々がいて、宗教がある。日本は障害などをもっていると偏見を持たれることが多く、社会の中で活躍している人は少ない。だが、アメリカでは障害のある人でも、社会の中でその人個人のスキルや適性を認め、尊重していて、先入観が少ないように思う。

日本では、男性、女性、子供だからというように、型にはめられてしまい、先入観で見られることが多い。私の住む標津町は、自然が豊かで、食べ物もおいしく、子供はその中でのびのびと育つ。治安もいい。しかし、この町は田舎にあり高校のレベルもあま

り高くはないため、若者の多くは自分に自信がなく、可能性を諦めているように思う。これは、環境が良くないため、自分には無理だと思っている先入観からである。

また、いまだに都会は怖いという先入観から保守的な考え方になっている人が多く存在する。「一番安全な国は日本」「海外は危険だから」と成人した子供が希望しても海外へ行かせてくれない親もいる。私は、過度に保守的な考え方の中で育った人間は、失敗を恐れ、自分の可能性をつぶしてしまうと考える。もし私がアメリカに行けたなら、この地域や学校の人たちの保守的な先入観に少しは変化を与えられるのではないだろうか。テレビから流される映像や報道、学校、映画館、店で売っている品物やそのサイズなど、いたる所に私の先入観に変化を与えてくれるものがあるだろう。

また、私はアメリカと日本の学校の違いを知りたい。日本の学校では、校則が厳しく、様々な面で禁止されることが多いため自由がないように感じる。私が通う高校の中では、それを許してしまうと、風紀が乱れてしまう可能性が大きいと先生方は考えている。しかし、アメリカの公立高校では、身なりに対する校則は自由だとインターネットを通して知った。自由だからといって学校の風紀が乱れるわけではない。外見は関係ないと言うことだ。日本の学校では、生徒を管理しなければいけないという考え方がある。しかし、それが生徒の主体性を育てることを阻んでいる。私はアメリカに行き、どのような環境で教育を受け、どのように先生と生徒が接すれば、主体性が身に付くのか、また、生徒達と話をし、どのような考え方をもち、行動をしているのかを知りたい。

チャレンジする心、主体性のありかた、日本との文化や考え方の違いをつかみ取るとともに、「環境が良くななくても行ける」という可能性、諦めないことやチャレンジすることの大切さを周囲の人たちに伝えたい。自分の可能性を、環境や境遇のせいにして、諦めてはだめだ。失敗を恐れずチャレンジし、可能性を広げるべきだ。

今の私は、例えるならば、まだどんな花が咲くかわからない植物の芽の状態だ。自分の花を大輪の花に育て、可能性を広げ、この世界の人々が心から笑顔でいることができる未来を作れる人間になるための栄養をアメリカでつかみ取りたい。